

仕事にやりがいを持つために、

1、最近NHKのある番組で、その道のあるプロが言いました、「仕事は与えられたことをしていただいただけではただの作業だ、もう半歩前に出ることで始めて仕事をしたことになる、仕事とはそういうものだ」と。一工夫して半歩前に出られればやりがいは自然についてくるということでもあります。

この不安定な経済状況の中で介護産業はこの先十数年最も安定した成長産業の一つだそうです。今、超高齢社会に入った日本は、プロの介護による社会の下支えなくしては日本国自体が成り立たなくなつて来つつあります。私たちはその社会の下支えを任されているのです。

しかも若い世代だけでは社会保障制度が成り立たなくなったため全世代が資金を出し合つて支えるよう変更になりました。

従つて私たちには社会がなるほどと認めてくれるプロの介護を提供する役割があります。

私たちの選んだ介護という仕事を「プロの介護」にしてみようじゃありませんか。

そのためには介護スキルを身につけて、受け身ではなく半歩前に出る仕事をしようではありませんか。

日々、誰にでもやりたい仕事、やりたくない仕事があります。自分で選んだ仕事ならいずれにしても、やりがいのある仕事にしたいですね。自分の見方考え方ひとつでやりがいは出たり消えたりします。

やりたい仕事 —— さらに思いっきりやりましょう。

やりたくない仕事—— とにかく一生懸命やりましょう。やっているうちにやりがいが出てきます。

2、職員の皆さんが日々行っていることは試行錯誤も含めて記録に残さないともったいないと思いますので事例検討等を含めた「一羊館の年報」を作りたいと思っています。

どのようなものにするかは白紙ですが全職員の気持ちを込めたものにしたいと思っています。